

名前 () 日づけ (/) できた数 (/26)

使い方 書き下し文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。この文章の山は「四端と四徳の対応」と、再読文字(将・猶)です。

言っていること=子どもが井戸に落ちそうなのを見れば、誰でもはっとする。それは見返りを期待してではない。だから人には生まれつき善い心がある(性善説)。その芽生えが四端で、育てれば仁・義・礼・智の四徳になる。

一次の書き下し文を読んで、後の問いに答えよ。

孟子曰(いは)く、人皆^①人に忍びざるの心有り。…

人皆人に忍びざるの心有りと謂(い)ふ所以の者は、今人^②乍(たちま)ち^③孺子(じゆし)の将(まさ)に井(せい)に入らんとするを見れば、皆^④怵惕惻隱(じゆつてきそくいん)の心有り。孺子の父母に^⑤内交する所以(ゆゑん)に非(あら)ざるなり、^⑥誉(ほまれ)を郷党朋友(きやうたうほういう)に要(もと)むる所以に非ざるなり、^⑦其の声を悪(にく)みて然(しか)るに非ざるなり。

^⑧是(ここ)に由(よ)りて之を觀れば、^⑨惻隱の心無きは、人に非ざるなり。羞惡(しうを)の心無きは、人に非ざるなり。辭讓(じじやう)の心無きは、人に非ざるなり。是非の心無きは、人に非ざるなり。

惻隱の心は、^⑩仁の端(たん)なり。羞惡の心は、義の端なり。辭讓の心は、礼の端なり。是非の心は、智の端なり。人の是(こ)の四端有るや、^⑪猶(な)ほ其の四体(したい)有るがごときなり。…

凡(およ)そ四端の我に有る者、皆^⑫擴(ひろ)めて之を充(み)たすを知れば、^⑬火の始めて然(も)え、泉の始めて達するがごとし。^⑭苟(いやし)くも能(よ)く之を充たさば、以て四海を保つに足る。苟くも之を充たさざれば、^⑮以て父母に事(つか)ふるに足らず。

語注 忍びざるの心=他人の不幸を見過ぐせない、いたわりの心。乍ち=とつさに・ふと。孺子=幼い子ども。井=井戸。怵惕=はっとしておそれ、はらはらすること。惻隱=あわれみ、いたみ悲しむ心。内交=親しい交わりを結ぶこと。要む=求める。郷党=郷里の人々。朋友=友人。端=芽生え・いとぐち・始まり。四体=両手両足。からだ。擴めて充たす=おし広げて十分に發揮する。四海=天下・世界中。苟くも=もし(仮定)。

A 語句と読み(1～6)

(1) ③の「孺子」の読みと意味を書け。

(2) ②「乍(たちま)ち」の読みと意味を書け。

(3) ④の「怵惕」の読みと意味を書け。

(4) ④の「惻隠」の意味を書け。

(5) ⑩の「端」のここでの意味を書け。

(6) ⑪の「四体」の意味を書け。

B 句法(7～11) ※再読文字・否定・仮定

(7) ③の「将にゝんとす」は何と呼ばれる文字か。読み方と意味も書け。

(8) ⑪の「猶ほゝがごとし」は何と呼ばれる文字か。意味も書け。

(9) ⑤・⑦の「ゝに非ざるなり」は、どのような意味を表すか。

(10) ⑭「苟(いやし)くも能(よ)く之を充たさば」の「苟くもゝば」は、どのような意味を表すか。

(11) ⑫を含む「皆擴めて之を充たすを知れば」の「ば」は何形に接続し、何を表すか。

C 何を指すか (12～15)

(12) ①「人に忍びざるの心」とは、どのような心か。十五字以内で書け。

(13) ⑤・⑥・⑦で、孟子は何を否定しているのか。三つまとめて書け。

(14) ⑫の「之」は何を指すか。

(15) ⑬は、四端をどうすることのたとえか。本文の語を用いて書け。

D 口語訳 (16～19)

(16) ②・③を含む「今人乍ち孺子の将に井に入らんとするを見れば」

(17) ⑨「惻隠の心無きは、人に非ざるなり」

(18) ⑪を含む「人の是の四端有るや、猶ほ其の四体有るがごときなり」

(19) ⑭を含む「苟くも能く之を充たさば、以て四海を保つに足る」

E 内容・記述 (20～23) ★四端と四徳の対応が山

(20) 四端と、それが出発点となる四徳の対応を、それぞれ漢字一字で書け。

(21) ⑧より前で、孟子が「孺子の井に入らんとする」たとえを持ち出したのは、何を証明するためか。

(22) ⑪のたとえによって、孟子は四端が人にとってどのようなものかと言いたいのか。

(23) ⑮「以て父母に事（つか）ふるに足らず」とあるが、四端を充たさなければどうなると言っているのか。

F 思想・文学史 (24～26)

(24) この文章で説かれている、人の本性は善であるとする考え方を漢字三字で書け。また、孟子が受け継ぎ発展させた儒家の祖とされる思想家名も書け。

(25) 孟子が活躍したのは何時代か。

(26) 孟子の性善説に対し、「人の本性は悪であり、努力によって善に向かう」と説いた同じ戦国時代の儒家の思想家名を書け。

【テスト直前チェック】この三つ ①四端と四徳＝惻隠→仁／羞惡→義／辞讓→礼／是非→智。この四つは即答できるように。②再読文字が二つ＝「将に～んとす」（今にも～しようとする）と「猶ほ～がごとし」（ちょうど～のようだ）。③「端」＝芽生え。四端は完成品ではなく、育てるべき「芽」です。